

「乳幼児突然死症候群 (SIDS) および乳幼児突発性危急事態 (ALTE) の
病態解明等と死亡数減少のための研究」

平成 26 年度～28 年度 分担研究報告書

研究課題： 従来の apparent life threatening events (ALTE) 症例のどれくらいが brief
resolved unexplained events (BRUE) の低リスク群に相当するか？

研究分担者： 中川 聡 (国立成育医療研究センター病院集中治療科)

研究協力者： 上田理誉 (国立精神・神経研究センター小児神経科)

野村 理 (東京都立小児総合医療センター救急診療科)

研究要旨

過去に報告した apparent life threatening events (ALTE) 症例 112 例に対して、新たに提唱された brief resolved unexplained events (BRUE) でのリスク分類を行った。その結果、18 例 (16.0%) が低リスクと分類された。その低リスク患者中、4 症例で、医療機関受診後に BRUE の症状を反復した。我が国の ALTE 症例で、BRUE の低リスクに分類される患者は少数派であると認識される。ALTE の原因に関しては、引き続き十分な精査が必要であると考えられた。

A. 研究目的

2016 年に米国小児科学会 (American Academy of Pediatrics; AAP) が apparent life threatening events (ALTE) に代わる概念として、brief resolved unexplained events (BRUE) を提唱した (Tieder JS, et al. Pediatrics 2016; 135:e20160590)。さらに BRUE のリスク分類をして、低リスク群においては、不必要な検査などは行わないように勧告している。しかし、従来 ALTE と考えられていた症例のどれくらいが、この BRUE の低リスク群に分類されるかは未知である。今回、過去に ALTE と認識された症例群での BRUE のリスク評価を行った。

B. 研究方法

対象は、過去に報告をした ALTE 症例 112 例 (上田ら. 日児誌 2014;118-1213-18.)。この症例のデータベースを用い、BRUE のリスク分類を行い、低リスク群を抽出した。なお、BRUE の低リスク群は、次の項目を満たすものとされる。

- 日齢 > 60 日

- 出生在胎週数 ≥ 32 週かつ受胎後週数 ≥ 45 週
- 最初の BRUE
- 1 分以内
- 医療従事者による蘇生行為を受けていない
- 特筆すべき既往歴がない
- 身体所見に異常がない

さらにこの低リスク群での、病院受診後の BRUE のエピソードの反復の有無を調べた。

C. 研究結果

結果を図 1 に示す。全 112 例中、日齢 60 日以内は 62 例だった。残りの 50 例中、在胎 32 週未満が 2 例、既往歴 (基礎疾患) あり 10 例、持続時間 1 分以上 15 例、医療従事者による蘇生行為あり 5 例を除くと、残りは 18 例となった。この 18 例で危惧される身体所見を認めなかった。以上より、BRUE の低リスク群は、18 例 (16.0%) だった。

さらに、この低リスク群と判断された症例中 4 例で、病院入院中に BRUE 症状を反復した。

D. 考察

AAP が提唱した BRUE という概念は、従来の ALTE 症例は、後方視的に検討した場合にかならずしも life-threatening でないことがわかっており、呼称を変えようという意図がうかがえる。さらに、ALTE の症例では、様々な原因検索を行っても、その原因が見つからないことも多い。こういった背景から、ALTE にかわる BRUE という概念を提唱して、さらに unnecessary 検査などを行わないことを目的に低リスク群を抽出することを提唱した。

この新たな概念が、従来の ALTE 患者にどのように適用されるかを今回検討した。その結果、BRUE の低リスク群に分類される患者は、ALTE 全体の 16% に過ぎないことが分かった。さらに、低リスクと判断された患者で、医療機関に入院中も ALTE 症状を反復している症例があり、必ずしも低リスクと判断できないことが分かった。

E. 結論

我が国の ALTE 症例では、BRUE の低リスク群に分類される症例は、少数派であると認識される。ALTE を引き起こす原因に関しては、引き続き十分な精査が必要であると思われた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Ueda R, Nomura O, Maekawa T, Sakai H, Nakagawa S, et al. Independent risk factors for recurrence of apparent life threatening events in infants. Eur J Pediatr 2017; published on-line, January 20.
- 2) 成田正明、江藤みちる、大河原剛、中川 聡、他. 遺伝と乳幼児突然死症候群、ALTE の新概念 BRUE も含め. 小児科臨床 2017; 70:159-166.

2. 学会発表

- 1) 中川 聡、上田理誉、野村 理. 従来の apparent life threatening events (ALTE) 症

例のどれくらいが brief resolved unexplained events (BRUE) の低リスク群に相当するか? 第 23 回日本 SIDS・乳幼児突然死予防学会. 津市、2017 年 3 月 18 日 (発表予定)

H. 知的財産権の出願・登録状況

- 1) 特許取得: なし
- 2) 実用新案登録: なし
- 3) その他: なし

図 1

